

まちプロ会議

第16回

2025.12.13
蒲郡市役所 北棟集会室

… 今回の内容 …

- コンセプトづくり
 - ・説明と、テーブルワークでコンセプトづくりを行いました
- ルールづくり
 - ・参考事例共有と、テーブルワークでルールづくりを行いました
- 各チームの活動報告
 - ・ミモザ
 - ・がまさだいっか
 - ・うみまちマルシェ

01 コンセプトブックづくり

●前回のまちプロ会議からコンセプトブックづくりをはじめています。前回はコンセプトのキーワードの意見出しを実施、今回は骨子案の意見交換とキーワードのブラッシュアップを行いました。

目的

●コンセプトブックはコンセプト（活動指針）や活動内容を取りまとめたものです。まちプロジェクト会議を自立した活動につなげるための基礎づくりにコンセプトブックを作成します。また、今後新しく参加するメンバーにはコンセプトブックを読んでから加わってもらいます。

<p>まちプロジェクト会議</p> <p>合意形成の場</p> <p>将来の東港地区で 自分たちの活動をしていくことを目指し 意思決定・調整をする場</p> <p>市道降格に向けて蒲郡市も動いています！ 市民みなさんで責任を持って動いてもらうことになる</p>	<p>R7年度の目標</p> <p>1. 体制づくり</p> <p>2. 活動方針、コンセプトづくり</p> <p>3. 活動のルールづくり</p>	<p>コンセプトとは？</p> <p>●『まちプロジェクト』とは、を説明するもの</p> <p>●自分たちの活動の指針・大切にすること</p> <p>●メンバーで共有する想い</p> <p>★主語は基本的に「わたし」「わたしたち」 ★今後、新しい仲間をむかえるために コンセプトブックを読んでから加わってもらう</p>
---	---	--

骨子案

●コンセプトブックの骨子案についての意見交換を行いました。コンセプトブックは、A5サイズ冊子の大きさで作成します。各ページの内容は大きく、①まちプロ会議の位置づけや目的の説明、②コンセプトの説明、③各プロジェクトの説明の3つになります。骨子案をもとにデザイナーさんにレイアウト等やイラストを作成していただきます。デザインは蒲郡市のミツコトデザインにご依頼しています。

<p>まちプロ会議の位置づけや目的を説明するページ</p> <p>過去の活動写真や東港地区の写真</p>	<p>これまでの活動記録を記載するページ【案】</p>	<p>コンセプトを説明するページ</p> <p>誰もが挑戦できる場所しよう</p> <p>蒲郡を楽しもう</p> <p>みんなで助け合おう</p> <p>にぎわいを生み出そう</p> <p>蒲郡の風景を大切にしよう</p> <p>人と人、地域につなごう</p>	<p>各プロジェクト紹介ページ</p> <p>説明文</p> <p>イメージイラスト</p>
--	-----------------------------	--	--

意見一覧

●コンセプトブックのコンセプトキーワード・説明文の意見一覧です。チーム毎で意見を出し、意見を分類わけして全体で発表しました。

説明文案	意見
誰もが挑戦できる場所にしよう	
はじめよう、やってみよう、誰だって最初は初心者なんだから。「できたらいいな」が「できた」に変わる自分自身の挑戦の場、そしてチャレンジしたい人の受け皿となります。一歩踏み出して、やってみようことをみんなで実現しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・「受け皿」→「チャレンジする人をサポート」 ・自発イメージをもっと持たせる ・受けとめるよりは一緒にやっていくイメージ ・「挑戦の場」→「挑戦の場にしよう」 ・「やってみたいを実現できる場所」

蒲郡を楽しもう

自分たち自身も楽しみながら、訪れたひとたちも楽しませたい。たくさんの関わり方ができる、いろんなコンテンツを生み出します。海を身近に感じながらゆっくりと過ごしたり、体を動かしたり、一緒にいろんな活動の場を目指そう。	<ul style="list-style-type: none"> ・海だけ？山は？ ・「誰もが楽しめる空間を作り出す」 ・具体的にイメージできるイラストを追加 ・「蒲郡」を視覚的に強調させる ・「海を身近に」→「海山を」or「海や自然を」 ・「蒲郡」ではなく→「ポルタル」
--	--

みんな助け合おう

パブリックマインドを持ち、さまざまな活動を支援します。みんな支え合い、より豊かに公共空間を使いこなします。蒲郡で挑戦してみたい人はもちろん、生活している人、訪れる人など、老若男女みんなが会い、集い、よりどころとなる場所をつくっていこう。	<ul style="list-style-type: none"> ・「パブリックマインド」→誰でもわかる言葉づかいに変更 ・「挑戦してみたい人」は不要？ →「住んでいる人、訪れる人」に変更 ・「挑戦したい人」→「蒲郡に住んでいて挑戦したい人」と「蒲郡で挑戦したい人」では意味が異なる ・「世代関係なく、子供も大人もお年寄りも」 ・「ひととひと」 ・ 「おもてなしのこころ」 ・「こころ」
--	---

にぎわいを生み出そう

わたしたちが大好きな蒲郡をたくさんの人に好きになってもらう。出会いと癒しと感動の場所にしたい。そのためには活動を持続させることが重要で、小さな経済から始める持続的な活動づくりをおこないます。	<ul style="list-style-type: none"> ・「～な蒲郡」はなくても良い ・「そのためには～」以降の文をもう少し抽象的に ・「～していこう」の言い方に統一 ・ここでいう「活動」とは？ ・「活動づくり」→「にぎわいづくり」 ・「笑顔」 ・ 「ひと」
---	--

蒲郡の風景を大切にしよう

蒲郡は海と山で囲まれ、豊かな自然あふれる場所。蒲郡の地域資源を最大限活用していきます。この景色がいつまでも続くように、きれいに大切にしたい持続させよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい○○ 恵まれた○○ 形容詞が必要 ・「蒲郡の地域資源を」→「蒲郡の持つ恵まれた(美しい)景観を」 ・「蒲郡の自然と風景を大切にしよう」 ・「のんびり」 ・ 「風景 拡張」 ・「少しレトロ」 ・ 「三河湾」 ・「自然 よりそう」 ・ 「いきもの」
--	---

人と人、地域につなごう

人と人の結びつきや、地域、市、企業と連携し、地域を豊かにしていきます。心が通うつながりから、誰もが誇れるまちの形を描いていこう。蒲郡の未来のために頑張る人の輪を広げていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・～していこうで統一 ・地域より市民の方が良いのではない ・助け合おうをもう少し難しく言っているイメージ ・「ひと」「ビジネス」 ・観光につなげる
--	---

02 まちプロジェクト会議のルールづくり

●今回からまちプロ会議のルールづくりがスタートしました。まちプロ会議への参加・申込方法、公共空間を利用ルールなどを来年度のまちプロ会議の活動に向けて作成します。

目的

●コンセプトブックづくりと同様、まちプロ会議を今後自立した活動につなげるために、枠組みや体制を明確にしておくことが目的です。来年度の活動に向けて、まちプロ会議が円滑に活動を行うためにルールを皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

ルールについて

- 今回は主に3種類のルールについて、他の公共空間の事例を参考に意見交換を行いました。
 - ①こころがけ：常にもっておくべきこと
 - ②まちプロ会議参加・活動のルール：まちプロ会議に参加するために必要な条件と決めごと
 - ③公共空間利用のルール：公共空間の活用にあたり守らなければならないこと/望ましいこと

ルールとは	ルールとは	ルールとは
①こころがけ →常にもっておくべきこと	②まちプロ会議参加・活動のルール →まちプロに参加するために必要な条件と決めごと	③公共空間活用ルール →公共空間の活用にあたり守らなければならないこと/望ましいこと
<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで作る ・出会いの場をたいせつにする ・遊び心のある空間づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加方法 ・備品使用ルール ・活動報告（活動計画） ・会議の参加必要回数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの持ち帰り ・夜間早朝の利用マナー ・車の搬入ルール ・イベント保険加入の有無

ルールの例

●3種類のルールの例を参考として共有しました。

こころがけ	まちプロ会議 参加・活動ルール
<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで作る ○出会いの場を大切にする ○遊び心のある空間づくり ○会話しやすい環境づくり ○他の人の意見を否定しない 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加方法 <ol style="list-style-type: none"> ①説明会→審査→登録 →審査なしで登録 ②講習会→登録 ③事務局への問い合わせ →全体会議に参加 ④企画書を事務局へ提出・ヒアリング ○参加費（保険、通信、消耗品） <ol style="list-style-type: none"> ①有料 ②無料 ○会議の役割 <ol style="list-style-type: none"> ①全体会（現WS） →年間計画づくり、報告、スケジュール調整 ②分科会 ○備品使用ルール <ol style="list-style-type: none"> ①備品リスト ②保管場所 (市とパートナーズで協議・乗船センター?) ③使用の流れ ○SNS発信の手順 ○新チーム立ち上げの手順
公共空間 利用ルール	
<ul style="list-style-type: none"> ○ごみの持ち帰り ○夜間早朝の利用マナー ○車の搬入ルール ○イベント保険加入の有無 	

意見一覧

●後半のグループワークでは、ルール例を参考にチーム毎で意見出しを行いました。特にまちプロ会議の参加・活動ルールについて意見交換を実施したので、分類にわけて紹介します。

関わり方

マネージャー	プレイヤー	メンバー	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・首チームがマネージャー ・マネージャーの中で分類 <ol style="list-style-type: none"> ①マネージャー ②サポーター ・活動場所と具体的な運営内容を明確にしておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・出店者と主催者の分類わけを明確にする ・メンバーの条件設定が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・手伝いボランティアも含む 	<ul style="list-style-type: none"> ・蒲郡市の支援

参加費

無料	有料
<ul style="list-style-type: none"> ・ハードルが低く、メンバーを増やせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・とりあえず登録するのを防ぐ ・年に1000円程度

参加方法

全体会議	説明会
<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議に参加（参加の条件はなし）→登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会→登録の流れ ・参加スタンスによって説明の度合いを分けてもよい
登録	審査
<ul style="list-style-type: none"> ・最後のまちプロ会議で登録 	<ul style="list-style-type: none"> ・審査はなし、緩く設定
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・レポート等を一読・確認してから参加 →まちづくりビジョン、会議レポート 	

備品使用ルール

使用の流れ	会議の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・全体の費用を備品の修理に充てる →出店料を固定費で徴収 →壊した際に申告がしやすい 	スケジュール
	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の会議スケジュールの作成が必要

2025年度まちプロ会議スケジュール

※スケジュールは、変更となる場合があります

